

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日  
平成 30 年 4 月 20 日

事務事業名		桜川地区交通安全協会参画事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	030301000707	
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	030301	
政策体系	総合計画の施策名	0303	交通安全対策の推進			主要事業		グループ	生活環境課	
	政策名	03	安全安心な暮らしのまちづくり			市長マニフェスト			市民活動・交通安全G	
	施策名	03	交通安全対策の推進			未来PJ事業				
	手段名	01	①交通安全意識の向上			合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	02	01	11	00	00	単年度繰返し (平成18年度~)			
法令根拠							← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要(事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>市内に住む運転者が会員として、交通安全に自ら寄与していこうという、基本概念のもと、桜川市の市民が安心して安全に過ごせるまちづくりのため、桜川警察署の実施する交通事故防止の諸活動に協力し、地域社会の福祉増進に寄与することを目的に設けられた交通安全協会の健全な発展が図られるよう運営に参画する。</p> <p>交通安全協会主催事業 桜川地区子供自転車大会 高齢者交通安全グラウンドゴルフ大会 その他応援協力事業 交通対策協議会主催事業の協力 納涼大会交通整理 ひなまつり立哨 さくらマラソン大会立哨</p>	<p>交通対策協議会から助成金事務、運営参画 交通安全行事の協力(子供自転車大会、グラウンドゴルフ大会) 全日本・県事業の協力(県子供自転車大会、子供自転車全国大会) 支部活動(真壁、大和、岩瀬)事務</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
交通対策協議会から助成金事務、運営参画 交通安全行事の協力(子供自転車大会、グラウンドゴルフ大会) 全日本・県事業の協力(県子供自転車大会、子供自転車全国大会) 支部活動(真壁、大和、岩瀬)事務	交通安全運動啓発活動数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	街頭立哨活動数	人	45.00	43.00	45.00	50.00	55.00
	イベント交通規制協力者(延べ人数)	人	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
	参画会議数	回	3.00	3.00	4.00	4.00	4.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
市民 自動車運転免許証を保有している市民	人口	人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
	免許証所持数	人	31,800.00	30,691.00	30,100.00	29,600.00	29,600.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)
街頭立哨の実施、各季街頭キャンペーンの実施	主催事業参加人数	人	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
	交通安全表彰者	人	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	交通事故件数※1/1~12/31	件	125.00	143.00	130.00	120.00	110.00

(3) 投入量(事業費)の推移		28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間	時間	342.20	306.65	250.00	
	人件費計(B)	千円	1,001	897	731	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,001	897	731	

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)			30年度事業費 予算(千円)		
		合計	0		合計	0

(4) 当該年度の実施内容	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	桜川地区交通安全協会参画事業	事務事業No.	30301000707	所属課	生活環境課
-------	----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 交通の危険防止のため、交通道德の普及高揚を図り、もって交通秩序の確立と交通安全の実現に寄与することを目的として、交通安全思想の普及啓発、交通安全教育の推進、交通安全教育指導者の育成、交通安全表彰の実施等の交通安全活動を推進するため開始された	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 交通安全協会事業のチラシを作成し全戸、回覧、もしくはお知らせ投稿して、会員拡大をしていく。また加入特典の充実のため、市内で割引等のサービスの提供店の提携をお願いする。	
現状維持	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 茨城県交通安全協会を母体に各警察署に配置され、交通事故防止と交通道德高揚のための交通安全啓発活動は子供、市民、道路利用者となっており、市が取組む交通安全啓発活動と結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 警察、交通関係団体と合わせて交通安全啓発活動を展開しているため、公共の関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 年々加入者数が減少しているため、会員拡大の取組み(加入特典、割引サービス等)をする必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 交通安全啓発のために補助金を支出しており、市が助言等を行うため廃止休止には影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名   交対協運営、母の会運営、安全運転管理者協議会運営 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 運転者が加入している団体は交通安全協会しかないため類似事業の統廃合はない。交通安全啓発については、交通対策協議会を主とし、警察署、興津関係団体が連携して実施している。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 警察、行政、交通関係団体が丸となって交通安全啓発活動を行っており、また交通安全啓発のみと必要最小限で実施しており事業費・人件費の削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 交通安全啓発活動は、子供、市民、道路利用者を対象に行っているため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 交通安全啓発活動について主な啓発がキャンペーンであるため、幅広く市民へ周知し、運転免許更新時の会員加入の強化を促す必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td></td> </tr> </table>	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																							
コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---